

日程表

10月12日(土)

()の中は会場を示す。

9:00	9:30	12:30	13:30	15:00	15:15	17:45	18:00	19:00	21:00
受付・研究発表の打ち合わせ	研究発表 I A(1階 大教室) B(202) C(203) D(205) E(2階 大教室) F(302) G(303) H(305)	昼 食	共同企画 I (202) 共同企画 II (203) 共同企画 III (1階 大教室) プロジェクト研究 I (2階 大教室)		挨拶 基調講演 シンポジウム (みちのくホール)		総会		懇親会 (岩木ホール)
	11:30-13:30 院生フォーラム (402, 404, 405, 406)								

10月13日(日)

8:30	9:00	12:30	13:30	15:00	15:15	16:45
受付・研究発表の打ち合わせ	研究発表 II I(1階 大教室) J(202) K(203) L(205) M(2階 大教室) N(302) O(303) P(305)	昼 食	共同企画 IV (202) 共同企画 V (203) 共同企画 VI (302) プロジェクト研究 II (2階 大教室)		共同企画 VII (1階 大教室) 共同企画 VIII (202) 共同企画 IX (203) 共同企画 X (音楽ホール)	

* 研究発表の開始時間は、
12日(土)は9:30
13日(日)は9:00
です。

* 研究発表の打ち合わせは、
12日(土)は9:00から
13日(日)は8:30から
行います。
研究発表者と司会者は
各会場に集合して下さい。

平成25年度総会

日時：10月12日(土) 18:00~19:00

会場：50周年記念会館 みちのくホール

- 議題：
1. 開会の辞
 2. 会長挨拶
 3. 議長選出
 4. 議事
 - 1) 会務報告
 - 2) 平成24年度会計報告・監査報告
 - 3) 平成25年度補正予算
 - 4) 平成26年度事業計画および予算
 - 5) 第45回大会開催地について
 - 6) 第46回大会開催候補地について
 - 7) その他
 5. 閉会の辞

大会実行委員会企画

基調講演&シンポジウム（みちのくホール）12日（土）15：15～17：45

挨拶

日本音楽教育学会会長 加藤 富美子
弘前大学教育学部長 伊藤 成治
第44回大会実行委員長 今田 匡彦

基調講演

Weaving First Nations cultural practices into music education in British Columbia

先住民のカルチュラル・プラクティスに学ぶブリティッシュ・コロンビア州の音楽教育

..... (1)

The University of British Columbia Anita Prest

シンポジウム

Weaving Non-European sound practices into music education in Japan

世界のサウンド・プラクティスに学ぶ音楽教育 (2)

パネリスト：The University of British Columbia Anita Prest

弘前大学 杉山 祐子

コーディネーター&通訳：

弘前大学 今田 匡彦

常任理事会企画

プロジェクト研究Ⅰ（2階大教室）12日（土）13：30～15：00

音楽教育学における「記録」..... (3)

パネリスト： 佛教大学 高見 仁志

白梅学園短期大学 長井(大沼)覚子

滋賀大学 杉江 淑子

企画・司会： 北海道教育大学 寺田 貴雄

プロジェクト研究Ⅱ（2階大教室）13日（日）13：30～15：00

社会へのまなざし, 社会からのまなざし (4)

シンポジスト： 埼玉大学 志村 洋子

日本女子大学 坪能 由紀子

埼玉学園大学 寺田 己保子

企画・司会： 新潟大学 伊野 義博

研 究 発 表

研究発表A (1階 大教室) 12日 (土) 9:30~12:30

司会 菅野道雄 (北海道教育大学旭川校)・三村真弓 (広島大学)

- A-1 演奏行為における「合わせる」とは何か……………(5)
 —音楽をする身体と音楽になる身体—
弘前大学大学院生 熊谷敬太
- 2 サウス・ポストンのハウズ小学校長ハリングトンの唱歌教育論……………(6)
 —アメリカ教育講習会で明らかにされた講演を中心に—
鳴門教育大学 長島真人
- 3 フレーベル『母の歌と愛撫の歌』に付けられたコールによる「結びの感情」の楽曲分析
 ……………(7)
大阪総合保育大学大学院生 馬場住子
- 4 北村久雄における唱歌科教師としての専門性認識の変容……………(8)
 —実践的問題関心の検討を通して—
東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科院生 塚原健太
- 5 ポール・G・ウッドフォードの音楽教育哲学(3)……………(9)
 —『民主主義と音楽教育』をめぐる議論の諸相—
福島大学 杉田政夫
- 6 唱歌教育成立期における楽語の邦訳……………(10)
 —「調」及び「旋法」を中心に—
関西学院大学 吉田孝

研究発表B (202) 12日 (土) 9:30~12:30

司会 尾見敦子 (川村学園女子大学)・藤井浩基 (島根大学)

- B-1 一宮道子による「音の作文」……………(11)
 —「音感教育」を基調とする作曲指導—
日本女子大学大学院生 長尾智絵
- 2 相互行為としての音楽活動の構造……………(12)
 —A. シュッツ「相互同調関係」の検討を通して—
東京学芸大学連合大学院生 田邊裕子
- 3 ベルリン国立図書館所蔵の『バイエルピアノ教則本』について……………(13)
 —複数の初版を比較して—
大阪芸術大学 多田純一
- 4 明治・大正時代の音楽教育における「情操」の思想史……………(14)
 —音楽心理学と音楽療法思想史の見地から—
北海道教育大学釧路校 小野亮祐
- 5 米国統治下における沖縄の音楽教育……………(15)
 —沖縄らしさを求める動きを中心に—
総合研究大学院大学大学院生 山本由紀子
総合研究大学院大学大学院生 光平有希
- 6 新潟大学教育学部高田分校「芸能学科」再編の動向……………(16)
 —新潟第二師範学校から新潟大学教育学部高田分校へ—
国立教育政策研究所 津田正之
鳥取大学 鈴木慎一朗

研究発表C (203) 12日(土) 9:30~12:30

司会 齊藤忠彦(信州大学)・南曜子(金城学院大学)

- C-1 音楽の授業で形成される音楽に対する苦手意識の研究(Ⅱ)……………(17)
—学習性無力感の理論に基づく苦手意識形成要因の分析—
東京都足立区立花保小学校 東小路恵美
- 2 音楽のアフォーダンスを発見する子ども……………(18)
—小学校低学年児童を対象とした身体反応から歌唱表現へつなげる活動を通して—
新潟市立浜浦小学校 内海昭彦
- 3 音楽的行動の発見を導くモノと行為……………(19)
—1歳児を対象にした音楽レッスンの事例観察から—
ヤマハ音楽振興会 山崎寛恵・ヤマハ音楽振興会 森内秀夫
- 4 音楽科授業における動機づけ尺度の検討……………(20)
—自己決定理論に基づいて—
広島大学大学院生 別府祐子
- 5 「ぴょんこ」リズムの生成に関する実験的研究(2)……………(21)
—3要因(旋律, モーラ処理, 歌詞のイメージ)による記憶の変容について—
学習院大学 嶋田由美・明治学院大学 水戸博道
岡山大学 小川容子・帝塚山大学 村尾忠廣
- 6 子どもの歌におけるモーラ処理について……………(22)
—促音・長音を中心として—
東海学園大学 夏目佳子

研究発表D (205) 12日(土) 9:30~12:00

司会 伊藤真(広島大学)・村上康子(共立女子大学)

- D-1 モンテッソーリ教育における「音階を構成する」学習過程の特徴……………(23)
—アンナ・マリア・マッケローニの音楽指導に着目して—
広島大学大学院生 藤尾かの子
- 2 英国の幼児音楽教育はどこへ向かおうとしているのか……………(24)
—EYFSの改訂がもたらしたもの—
東北福祉大学 鈴木敦子
- 3 オルゴール聴取時における新生児の反応
—近赤外光脳機能測定装置による脳内活動の研究—……………(25)
東京福祉大学 岡村弘・瀬尾史穂・関島英子
- 4 保育者養成における「表現」教育の現状……………(26)
—文部科学省・厚生労働省、保育現場、養成施設の関係性を中心に—
山口芸術短期大学 山本奈帆子
- 5 幼児の協同性をつなぐ表現活動……………(27)
—体験の多様性と関連性に着目して—
東京学芸大学附属幼稚園, 東京学芸大学大学院生 中野圭祐

研究発表E (2階 大教室) 12日(土) 9:30~12:30

司会 高橋雅子(山口大学)・時得紀子(上越教育大学)

- E-1 集団による音楽創作活動における「創造性」に関する研究……………(28)
—大学生と小学生の事例比較研究—
就実大学 古山典子
- 2 歌唱活動としての小学校の音楽劇……………(29)
—音楽劇の演劇性を活かした歌唱表現に着目して—
東京学芸大院連合校教育研究科院生 遠藤 香
- 3 音楽科における指導者の即興演奏力育成に関する研究……………(30)
—米国の指導者用テキストの考察をふまえて—
東京学芸大学大学院生 田中 路
- 4 学校音楽を「学ぶ」と「教える」ことの諸相(3)……………(31)
—中学生の学校音楽カリキュラム経験—
立命館大学 笹野恵理子
- 5 ジュネーヴの鑑賞教育に関する一考察……………(32)
—Concert Scolaireにおける取り組みを通して—
鹿児島大学 今由佳里
- 6 指導内容としての「音色」に関する研究……………(33)
—音色の地平を拡大することから見える可能性—
明星大学 阪井 恵

研究発表F (302) 12日(土) 9:30~12:30

司会 山本幸正(国立音楽大学)・吉富功修(広島大学名誉教授)

- F-1 アウトリーチ活動を子どもの学びにつなげる授業デザイン……………(34)
—ARCSモデルを援用した民謡と子どもを結ぶ実践—
東京学芸大学附属世田谷小学校 齊藤 豊
- 2 中学校音楽授業へのYUBAメソッド導入の効果……………(35)
—カラオケ機器を使った教育への応用研究—
愛知県東郷町立春木中学校 伊達忠徳
三重大学産学官連携研究員 大久保友加里
- 3 新しいサウンドスケープを活かした音楽教育……………(36)
—ストリートミュージックの可能性—
仲条 幸一
- 4 音楽科における児童の「言語活動」を促す授業者の〈言葉〉……………(37)
—美術鑑賞教育における「対話型ギャラリー・トーク」からの示唆—
植草学園大学 高木夏奈子
- 5 音高読譜力の実態と授業マネジメントに関する研究……………(38)
—小学校で習得できる音高読譜力と指導の留意点—
お茶の水女子大学附属中学校 中山由美
- 6 外国人児童のための音楽教育……………(39)
—70年代ドイツ異文化間教育黎明期の実践から—
浜松学芸高校 宮本賢二郎

研究発表G (303) 12日 (土) 9:30~12:30

司会 筒石賢昭 (東京学芸大学)・中西紗織 (北海道教育大学釧路校)

- G-1 音楽学習で求められる「基礎学力」の再考…………… (40)
—実態調査から探る高学年児童の和声感—
岡山大学大学院 高橋潤子
- 2 学校教育における音楽科の存在意義…………… (41)
—教師への聞き取り調査を通して—
東京藝術大学 小佐川心子
- 3 初等音楽科教育におけるオノマトペに関する研究…………… (42)
—学習の素材としての役割に着目して—
広島大学附属小学校 森保尚美
- 4 小学校音楽科教科書における創作活動の系統的プロセスに関する一考察…………… (43)
—題材のねらいと活動の役割に着目して—
広島大学大学院 岡崎 藍
- 5 中学校音楽科における箏曲教材の適性に関する研究…………… (44)
—鑑賞授業の実践を通して—
東京藝術大学 丸山 彩・阪元沙有理
- 6 長唄《勸進帳》の授業における中学生の声の評価の試み…………… (45)
—「長唄らしさ」を焦点に—
静岡大学 志民一成
長唄三味線演奏家, 千葉大学 山田美由紀
千葉大学 本多佐保美

研究発表H (305) 12日 (土) 9:30~12:30

司会 伊藤誠 (埼玉大学)・尾藤弥生 (北海道教育大学岩見沢校)

- H-1 主体性・独創性を促すシニア・リトミック活動の試み…………… (46)
—絵画・詩の創作活動の導入による検討—
名古屋市立大学大学院生 浦浜麗名
- 2 音楽療法士養成課程学生の卒業時点におけるコンピテンシー…………… (47)
武庫川女子大学 一ノ瀬智子
- 3 園・学校とホール・芸術文化団体とによる連携型教育プログラム研究…………… (48)
—持続可能な地域文化力をはぐくむために—
環太平洋大学 山本美紀
- 4 電子楽器の活用と音色の意義について考える…………… (49)
—ピアノ作品の音色考察から発展するアンサンブル演奏の指導—
voix claire 音楽教室 内藤郁子
- 5 アウトリーチにおける演奏家の意識と行動の変容…………… (50)
—演奏家の自己分析を通して—
東京藝術大学大学院生 小井塚ななえ
- 6 「音楽における創造的思考力」と即興的創作演奏の関連(2)…………… (51)
—ヤマハ音楽教室在籍児童の創造的思考力と創作作品の相関分析を中心に—
ヤマハ音楽振興会 渚 智佳・ヤマハ音楽振興会 酒井勇也
ヤマハ音楽振興会 小川純一・ヤマハ音楽振興会 馬田一郎

研究発表 I (1階 大教室) 13日(日) 9:00~12:30

司会 嶋田由美(学習院大学)・長島真人(鳴門教育大学)

- I-1 「即興性」と聴取の問題について……………(52)
—「フリー・インプロヴィゼーション」の変遷から見えること—
弘前大学大学院生 大坪千佳
- 2 ベネット・リーマーの一般音楽カリキュラム……………(53)
—カリキュラムの構造的特質とその史的意義—
広島大学大学院生 長谷川諒
- 3 肌理について……………(54)
—漆器とサウンド・エデュケーションにおけるアフォーダンス的視点—
弘前大学大学院修士課程 高橋憲人
- 4 日系ニューカマーの子どもの音楽的アイデンティティ形成……………(55)
—保護者世代・若者世代のケース・スタディより—
滋賀大学 杉江淑子
- 5 明治期の小学校唱歌科における唱歌教材に関する研究……………(56)
—音楽的側面に着目して—
広島大学大学院 山田めぐみ
- 6 大衆への洋楽普及に関する研究……………(57)
—堀内敬三企画のラジオ番組の検討を通して—
聖心女子大学 村井沙千子
- 7 スズキメソッド音楽教育論の原点を探る……………(58)
—「教師文化」から見るスズキメソッド—
東洋大学 桂直美

研究発表 J (202) 13日(日) 9:00~11:30

司会 小川容子(岡山大学)・北山敦康(静岡大学)

- J-1 音楽の調性が色彩感に与える影響……………(59)
—調性の異なる同一楽曲に着目して—
広島大学大学院 瀬川 恵
- 2 記憶されたピアノ鍵盤の大きさと形……………(60)
—熟達者と非熟達者の鍵盤位置指示課題実験から—
日本学術振興会, 京都市立芸術大学 大澤智恵
大阪大学大学院医学系研究科 木下博
信州大学教育学部 齊藤忠彦
- 3 グループ・レッスンにおける“聴く=行為”の発達……………(61)
—児童の演奏行動の変化を音響分析から比較・記述する試み—
駒沢女子大学, ヤマハ音楽振興会 丸山 慎・ヤマハ音楽振興会 小川純一
- 4 声を合わせて歌うときの脳活動の特徴……………(62)
—fMRIを用いての検討—
信州大学 齊藤忠彦・大阪大学大学院 小幡哲史
日本学術振興会 大澤智恵
- 5 演奏時の“あがり”とパフォーマンスに関する研究……………(63)
—心理面, 生理面, 行動面の関係性に着目して—
広島大学大学院生 平山裕基

研究発表K (203) 13日 (日) 9:00~12:30

司会 水崎誠 (東京学芸大学)・水戸博道 (明治学院大学)

- K-1 乳幼児の歌唱様表現の音声的特徴…………… (64)
甲南女子大学 坂井康子・埼玉大学 志村洋子
- 2 音楽グループレッスンにおける1~2歳児の行動の発達の变化…………… (65)
—歌唱と絵本読み聞かせの比較—
玉川大学 梶川祥世・ヤマハ音楽振興会 森内秀夫
- 3 聴覚障害学生を対象とした歌唱指導…………… (66)
—内的フィードバック能力の獲得過程からみえるもの—
宮城教育大学 小畑千尋
- 4 特別支援学校における音楽づくりの実践的意義と可能性…………… (67)
滋賀県立新旭養護学校 岡ひろみ
- 5 知的障害を有する生徒が音楽に興味を持つための活動の検討…………… (68)
—生徒の主体的な発表活動を通して—
青森県立むつ養護学校 小枝洋平
- 6 特別支援学校と小中学校等の音楽科教育課程の関係性…………… (69)
—特別支援学校(知的障害教育)音楽科器楽領域における指導内容の分析をとおして—
熊本大学 藤原志帆・福岡女学院大学 福島さやか
- 7 P.R. Websterが開発した創造的思考力テストに関する研究…………… (70)
広島大学大学院生 酒井勇也

研究発表L (205) 13日 (日) 9:00~12:30

司会 笹野恵理子 (立命館大学)・菅裕 (宮崎大学)

- L-1 音楽聴取における“ことば”との関わり…………… (71)
—「感想文」をめぐる混乱と展望—
弘前大学大学院生 勘林稚菜
- 2 音楽表現と気候との関わりを意識した学際的な学習の試み…………… (72)
—季節の移り変わり方に注目して—
岐阜聖徳学園大学 加藤晴子・岡山大学 加藤内藏進
- 3 吹奏楽指導における指導言に関する研究…………… (73)
—合奏中の教師の発言内容に着目して—
広島大学大学院生 藤井愛子
- 4 音楽における「動き」とは…………… (74)
弘前大学大学院 千葉修平
- 5 高等学校芸術科(音楽)における効果的な学習に関する一考察…………… (75)
—S.K.ランガーのシンボルの哲学および中村雄二郎の共通感覚論に基づいて—
宮城県石巻西高等学校 菅原拓也
- 6 米国各州の音楽スタンダードの構成概念に関する研究…………… (76)
広島大学大学院生 永井愛
- 7 音楽授業における若手教師の変容過程とその要因…………… (77)
—指導教諭とのかかわりに着目して—
東京藝術大学大学院博士後期課程 市川恵

研究発表M (2階 大教室) 13日 (日) 9:00~12:30

司会 古山典子 (就実大学)・原田博之 (宮城教育大学)

- M-1 中学校における楽曲分析の実践…………… (78)
—歌唱教材の音取りの中での楽曲分析への取り組み—
東京学芸大学 及川慶太
- 2 音楽学習における創作活動の追究…………… (79)
—オノマトペを題材とした音楽づくりの実践を通して—
四街道市立四街道中学校 小原 梢
- 3 音楽鑑賞で求められる本物を探る力…………… (80)
—ミニマル・ミュージックを題材として—
岡山大学大学院 小田原 祐子
- 4 「音楽づくり」を通じた音楽鑑賞の熟達化…………… (81)
—小学校高学年児童を対象とした授業実践・調査を通して—
鳥取大学附属小学校 仙田 真帆
- 5 自己調整学習における三項モデルの具体化…………… (82)
—8手連弾曲の練習過程を分析対象として—
岡山大学大学院 所司 都八紀
- 6 合唱指導を通じた心理社会的発達の支援(1)…………… (83)
—大学生の合唱指導における言語活動の試み—
山口大学 高橋 雅子
- 7 鑑賞の授業と記録についての考察…………… (84)
—音楽に相応しい言葉の使い方とは?—
青森県立中里高等学校 工藤 雅之

研究発表N (302) 13日 (日) 9:00~12:00

司会 権藤敦子 (広島大学)・佐野靖 (東京藝術大学)

- N-1 総合表現活動によって培われる多様な力(2)…………… (85)
—「人間力」「社会性」を育む視点から—
上越教育大学 時得 紀子・上越市立雄志中学校 遠藤 好子
- 2 ヴァイオリン奏法における「拇指」の重要性…………… (86)
—学習未経験者中心の演習授業を通して—
埼玉大学 伊藤 誠
- 3 漸進的な聴音課題の作成と指導の実践…………… (87)
—音楽構成要素の多角的な検討を通して—
東京工科大学 伊藤 謙一郎
- 4 「分割譜」からみるプログレッシヴ視唱課題の構造と課題作成に向けて…………… (88)
—ノエル・ギャロンのピアノ伴奏つき視唱課題を例に—
東京女子体育大学 柳田 憲一
- 5 フランスの初等教員採用試験における音楽技能試験の実状…………… (89)
—『報告書』にみる評価の観点と期待される能力を中心に—
愛知教育大学 吉澤 恭子
- 6 ハンガリーのピアノ教育における即興指導法…………… (90)
—アバジ・マーリア『ピアノの夢』から—
宮城教育大学 降矢 美彌子・仙台白百合女子大学 岩淵 撰子

研究発表O (303) 13日 (日) 9:00~12:30

司会 小野亮祐 (北海道教育大学釧路校)・志民一成 (静岡大学)

- O-1 生涯学習の継続性に関する研究…………… (91)
—アマチュア合唱団の活動を例に—
東京藝術大学大学院博士後期課程 萩原史織
- 2 カール・オルフの舞台作品における作曲手法と音楽様式の特徴…………… (92)
広島大学大学院生 吉井也代里
- 3 フィンランドの音楽科教員養成過程…………… (93)
—大学・職業学校のカリキュラムを中心として—
広島大学大学院 藤井恵子
- 4 ベルリンのシュテルン音楽院に関する研究…………… (94)
—初代シュテルン院長と二代目マイヤー院長を中心—to
武蔵大学大学院 北川聖子
- 5 音楽教育に関する高大連携の取り組み…………… (95)
—保育者養成課程の授業内容による実践—
函館短期大学 三沢大樹
- 6 音楽科指導者用デジタル教科書の課題…………… (96)
—韓国との比較を通して—
四天王寺大学 坂本暁美・京都女子大学 深見友紀子
- 7 要素の組み合わせに着目した問題解決型音楽づくり教材の開発…………… (97)
岡崎女子短期大学 滝沢ほだか

研究発表P (305) 13日 (日) 9:00~12:30

司会 磯田三津子 (埼玉大学)・奥忍 (近大姫路大学)

- P-1 J-POPの音楽構造に基づいた旋律創作方法の開発…………… (98)
東京学芸大学大学院連合学校教育学研究院生 木下和彦
- 2 群馬の郷土芸能に対する学生の意識と保存会の活動状況…………… (99)
—下牧・沼須の人形芝居を中心—to
東京福祉大学 下出美智子
- 3 「パフォーマンスの場」としての路上ライブ…………… (100)
—青森市の事例を中心—to
弘前大学大学院 田中和樹
- 4 掛け合い歌における即興能力継承の現状…………… (101)
—内モンゴルのデーリンチャーホラボー (Derilcha holboo) を通して—
新潟大学大学院 娜布其
- 5 子どもの表現と日本の伝統音楽⑤…………… (102)
—囃子を題材とした実践の報告—
東京芸術大学大学院生 小川実加子
- 6 アジアの音楽文化と関連付けた日本音楽の指導…………… (103)
—〔共通事項〕の視点を踏まえて—
東京芸術大学大学院生 鹿倉由衣・白梅学園短期大学 長井覚子
- 7 学校における郷土の芸能の学習…………… (104)
—学部、附属校、保存会との連携による試み—
足立区立梅島小学校 長谷川真澄
- 秋田大学 桂 博章

共 同 企 画

共同企画Ⅰ パネルディスカッション (202) 12日 (土) 13:30~15:00

芸術関連諸教科の統合的アプローチの検討(2)……………(105)
—学習モデルの構築をめざして—

近大姫路大学	奥	忍
浜松学芸高等学校	宮 本 賢 二 朗	
横浜国立大学	中 嶋 俊 夫	
兵庫大学短期大学部	井 上 朋 子	
東京藝術大学	佐 野 靖	

共同企画Ⅱ ラウンドテーブル (203) 12日 (土) 13:30~14:30

有本瞳日月の鳥取師範学校音楽科卒業論文に見る国民学校期の音感教育……………(106)

企画・司会：帝塚山大学	村 尾 忠 廣
情報提供者：立教大学	有 本 真 紀
和歌山大学	菅 道 子
鳥取大学	鈴 木 慎 一 朗

共同企画Ⅲ デモンストレーション (1階大教室) 12日 (土) 13:30~15:00

外国語の歌詞による歌曲の日本語訳演奏についての一考察と実践例……………(107)
—クルターグ・ジェルジュ作曲『言葉とはなに』を扱って—

宮城教育大学	降 矢 美 彌 子
千葉県立四街道高等学校	竜 田 晴 美
会津若松市立荒館小学校	目 黒 稚 子
二本松市立油井小学校	山 崎 純 子
実践女子学園中学校高等学校	岩 田 愛 子

共同企画Ⅳ パネルディスカッション (202) 13日 (日) 13:30~15:00

身体・モノ・音, それってアフォーダンス?……………(108)

企画・進行：聖心女子大学	今 川 恭 子
話題提供：静岡大学	志 民 一 成
共立女子大学	村 上 康 子
静岡大学	石 川 眞 佐 江
東京芸術大学大学院生	鹿 倉 由 衣
指定討論者：駒沢女子大学	丸 山 慎

共同企画Ⅴ ラウンドテーブル (203) 13日 (日) 13:30~15:00

演奏者の興奮・緊張・不安……………(109)

企画・話題提供：岡山大学	小 川 容 子
話題提供：岡山大学	早 川 倫 子
広島大学大学院博士課程前期	平 山 裕 基
福岡教育大学	山 中 和 佳 子
指定討論者：広島大学	三 村 真 弓
総括：広島大学	伊 藤 真

共同企画Ⅵ ラウンドテーブル (302) 13日 (日) 13:30~15:00

幼児教育・初等教育における子どもと音楽の関係を問い直す (110)
—コダーイの音楽教育哲学を手がかりに—

横浜国立大学 小川昌文
川村学園女子大学 尾見敦子
広島大学 権藤敦子
甲南女子大学 坂井康子
Ars et Musica 主宰 高橋美智子
昭和女子大学 永岡都

共同企画Ⅶ パネルディスカッション (1階 大教室) 13日 (日) 15:15~16:45

Inside or Outside? (111)
—音楽理解の切り口としての標題と表題—

弘前大学 今田匡彦
玉川大学 野本由紀夫
日本女子大学 坪能由紀子

共同企画Ⅷ ワークショップ (202) 13日 (日) 15:15~16:15

明治時代における邦楽と洋楽の音楽指導の関わり (112)
—中尾都山に見る尺八とヴァイオリン楽譜出版の経緯とその背景—

東京学芸大学 筒石賢昭 山
東京学芸大学連合大学院博士課程 安久津太一
協力者：大阪音楽大学, 音楽博物館 塩津洋子

共同企画Ⅸ ラウンドテーブル (203) 13日 (日) 15:15~16:45

音楽科教育は存在できるのか? (113)
—音楽科の「生存価」を求めて—

新潟大学 森下修次
玉川大学 高須一
奈良教育大学 福井一

共同企画Ⅹ ワークショップ (音楽ホール) 13日 (日) 15:15~16:45

「音のワークショップ」の未来的考察 (114)
—「つむぎねメソッド」が紡ぐサウンドスケープ体験から—

町田市教育委員会生涯学習センター嘱託職員 今井裕子
「つむぎね」主宰 宮内康乃